

Program Notes

クライスラー：テンポ・ディ・メヌエット

正式名称「ピニャーニの様式によるテンポ・ディ・メヌエット」は、18世紀イタリアの作曲家ピニャーニ風の古典的な様式を模して創作されたヴァイオリン小品です。優雅な3拍子のメヌエットで、貴族社会の気品や古典派の香りを感じさせる作品で、洒脱なユーモアと美しい旋律が魅力です。

J.ウィリアムズ：シンドラーのリスト

スティーヴン・スピルバーグ監督・製作、ジョン・ウィリアムズ音楽、1993年のアメリカの歴史映画。第二次世界大戦時にドイツによるユダヤ人の組織的大量虐殺(ホロコースト)が東欧のドイツ占領地で進む中、ドイツ人実業家オスカー・シンドラーが1100人以上のポーランド系ユダヤ人を、自身が経営する軍需工場に必要な生産力だという名目で絶滅収容所送りを阻止し、その命を救った実話です。

J.ボック(J.ウィリアムズ編曲)：屋根の上のヴァイオリン弾き

劇中歌「サンライズ・サンセット」で有名な1964年のアメリカのミュージカル。19世紀末、ウクライナ地方の小さな村で牛乳屋を営むユダヤ人テヴィエは、5人の娘に囲まれ、ユダヤ教の戒律を厳格に守つてしまい毎日を送っていました。テヴィエは娘たちの幸せを願い、それに裕福な結婚相手を見つけようと骨を折っていましたが、次第に「ポグロム」と呼ばれるユダヤ人迫害が激しくなって村全体の追放に至り、テヴィエたちは着の身着のままで住み慣れた村から出てニューヨークに向かうところで幕となります。

1924年、アメリカでは移民法が成立するなどし、移民の流入が阻まれたため、ニューヨークにおけるユダヤ教徒の活動は、次第に東欧出身の1世から2世へと重心を移すようになりました。1960年代に『屋根の上のバイオリン弾き』がブロードウェイ・ミュージカルとして大成功をおさめたのは、英語しか理解しない世代の台頭と、それらの世代の父・祖父の世代の世界へのノスタルジックな回帰、という時代風潮があったからだといわれています。

ピアソラ：天使のミロンガ

2021年はピアソラ没後100年のため、多くの演奏が行われました。ピアソラはタンゴにクラシック・ジャズの要素を融合させたTango Nuevo(新しいタンゴ)を生み出したことで知られ、人気を博しています。この曲は、「天使のタンゴ」という劇の付随音楽として書かれた組曲(3曲)のうちの一つです。

【「天使の死」(1962)、「天使のミロンガ」(1965)、「天使の復活」(1965)】ミロンガは、タンゴの源流となるリズムで、テンポは速いとされますが、ピアソラは情感を込めて美しく仕上げました。

出典：<https://manriki358.cocolog-nifty.com/blog/2022/06/post-de3dd9.html>

ピアソラ：ル・グラン・タンゴ

ル・グラン・タンゴは1982年のチェロとピアノのための作品。チェリストのロストロポーヴィチのために作曲されました。1995年にヴァイオリニストのギドン・クレーメルが録音したCDが世界的に大ヒットとなり、ピアソラの名とともにこの作品も注目されるようになりました。その後はチェリストのみならず、ヴァイオリニストもこぞって演奏するようになって、現在は重要なレパートリーとなっています。

参考文献：特記のあるもの以外は、Wikipedia、Chat GPT、Perplexityを参照した。

Profiles

石田 泰尚【ヴァイオリン】ISHIDA Yasunao

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル“石田組”など様々なユニットでも独特的の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック俱楽部」で放送されその熱いステージの模様は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスター(2025年4月よりソロコンサートマスター)を兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。ミューザ川崎シンフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル 热狂の夜」を2022年、及び2024年に開催。2024年には石田組でNHK「あさイチ」に出演、日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。同年リリースされた『石田組 結成10周年記念 2024・春』が第39回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞した。2025年4月より横浜みとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。使用楽器は1690年製G.Tononi、1726年製M.Goffriller



小埜寺 美樹【ピアノ】ONODERA Miki

東京都立芸術高等学校音楽科、国立音楽大学器楽学科卒業。二期会、藤原歌劇団、文化庁オペラ研修所、国立音楽大学大学院オペラ科伴奏助手など、コレベティトゥアとして研鑽を積む。文化庁在外派遣研修員としてイタリアに留学。第6回奏楽堂日本歌曲コンクール優秀共演者賞、第3回沖縄シーガーホールオーディション最優秀伴奏賞、第5回水戸芸術館オーディション合格、第2回Foggia国際ピアノコンクール第3位他、数々のコンクールに入選。ソロ、室内楽の他、オーケストラ鍵盤奏者としても活躍。

またオペラセッコチェンバリストとして、文化庁青少年移動公演の「愛の妙薬」でデビュー。以降、文化庁オペラ研修所修了公演「ドン・ジョバンニ」新国立劇場「フィガロの結婚」「セヴィリアの理髪師」「チェネントラ」「コジ・ファン・トゥッテ」他、数々のオペラセッコチェンバロを務める。ピアノを山脇一宏、植田克己、ファブリーツィオ・ガリッリ、ロベルト・コレアノ、コレベティを福森湘に師事。現在、新国立劇場オペラ制作音楽スタッフとしてオペラ公演に携わるほか、新国立劇場研修所講師として後進の指導にあたっている。



石田 泰尚

ヴァイオリン・リサイタル

2025年6月15日(日)

開演：14:00

小田原三の丸ホール大ホール

Rzp LLC主催 次回演奏会
2026.2.11(水・祝)

ピーティ田代櫻 チェロ・リサイタル
小田原三の丸ホール小ホール